

金属屋根の塗替え仕様

R s - 1 2液形弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料 1回塗り

R s - 2 2液形弱溶剤系シリコン樹脂塗料 1回塗り

工 程	塗 料 名	塗 回 数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (20℃)	希釈剤 希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	腐食・はがれ・浮き・発錆等はディスクサンダー・スクレーパー研磨紙等を用いて除去する。 ごみ・汚れ・などを高圧水洗で除去する。					
上塗り	2液形弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料	1	0.11~0.14	-	専用シンナー 5~15	はけ ウールローラー
	2液形弱溶剤系シリコン樹脂塗料					

注) 数値はすべて標準のもので、施工方法・施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがある。

R s - 3 2液形弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料 3回塗り

R s - 4 2液形弱溶剤系シリコン樹脂塗料 3回塗り

工 程	塗 料 名	塗 回 数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (20℃)	希釈剤 希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	腐食・はがれ・浮き・発錆等はディスクサンダー・スクレーパー研磨紙等を用いて除去する。 ごみ・汚れ・などを高圧水洗で除去する。					
下塗り	1液形変性エポキシ樹脂プライマー	1 ┌ 2	0.13~0.16	4時間以上	塗料用シンナー 0~10	はけ ウールローラー
	2液形変性エポキシ樹脂プライマー					
上塗り	2液形弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料	2	0.11~0.14	2時間以上	専用シンナー 5~15	はけ ウールローラー
	2液形弱溶剤系シリコン樹脂塗料			5時間以上		

注) 1 下塗りの種類の選定は旧塗膜の種類、劣化程度等により選定し、塗料メーカーの特記による。

2 各数値はすべて標準のもので、施工方法・施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがある。

R s - 5 弱溶剤 2 液形フッ素樹脂塗料 3 回塗り

工 程	塗 料 名	塗 回 数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (20℃)	希釈剤 希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	腐食・はがれ・浮き・発錆等はディスクサンダー・スクレーパー研磨紙等を用いて除去する。 ごみ・汚れ・などを高圧水洗で除去する。					
下塗り	2 液形変性 ^ホ キ樹脂 ^プ ライマー	1 ↳ 2	0.14～0.20	4 時間以上	塗料用シンナー 0～10	はけ ウールローラー
上塗り	弱溶剤 2 液形フッ素樹脂塗料	2	0.11～0.14	2 時間以上	塗料用シンナー 0～10	はけ ウールローラー

注) 各数値はすべて標準のもので、施工方法・施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがある。

R s - 6 屋根用遮熱（高反射率）塗料 3 回塗り

工 程	塗 料 名	塗 回 数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (20℃)	希釈剤 希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	腐食・はがれ・浮き・発錆等はディスクサンダー・スクレーパー研磨紙等を用いて除去する。 ごみ・汚れ・などを高圧水洗で除去する。					
下塗り	遮熱専用変性 ^ホ キ樹脂 ^プ ライマー	1 ↳ 2	0.13～0.18	4 時間以上	専用シンナー 0～15	はけ ウールローラー
上塗り	屋根用遮熱（高反射率）塗料	2	0.11～0.15	2 時間以上	塗用シンナー 5～15	はけ ウールローラー

注) 各数値はすべて標準のもので、施工方法・施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがある。

工法

- i 塗料は内容物が均一になるように十分攪拌する。
- ii 希釈する場合、薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不足となりますので注意し、所定の割合で行う。
- iii はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗付量、表面肌が異なり色相差が出来るので、はけ塗りの部分は、希釈割合の所定内で希釈を少なくして塗装する。
- iv 2 液形塗料は、塗料液に硬化剤を所定量加えかくはんし、可使用時間（ポットライフ時間）以内に使用する。
- v 2 液形塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守る。（縮み、割れ、乾燥不良などが起る原因となる）

注意事項

- i 塗装場所の気温が 5℃以下、湿度が 85%以上または換気が不十分で結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- ii 外部の塗装中に降雨、降雪のおそれがある場合および強風時は塗装を避ける。
- iii 塗装時ならびに塗料の取り扱い時は、十分に換気を行い火気厳禁にする。
- iv 製品の安全に関する詳細な内容が必要な時には、製品安全データシート（MSDS）を参照する。